

事業番号	11 08 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	快適・安心すまいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課		
		実施期間	S25 ～	E-mail	kenchiku @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・2050ゼロカーボンに向けて、住宅分野における更なるCO2排出の削減が必要
・少子高齢化と人口減少の進展により、住宅ストックが量的に充足されている一方で、空き家の増加や住宅産業の後継者不足等の住宅施策上の諸問題が顕在化し、既存住宅の有効活用、空き家の適正な維持管理による居住環境の悪化の防止、地域の住まいづくりを支える担い手確保に向けた取組等が求められている状況

2 事業目的

・省エネルギーへの配慮や豊富な森林資源を活用した住まいづくりの促進を図り、快適で健康な住まいの普及を通じて、2030年度までに「全ての新築住宅のZEH化」及び2050年度までに「住宅ストックの平均でゼロカーボン化」を目指す。
・人口減少社会に対応するため、空き家の適正な維持管理、移住・二地域居住の促進に資する既存住宅の有効活用、住まいづくりの担い手確保に向けた普及啓発や木造建築物の魅力の発信等に取り組み、多様な居住ニーズに応える魅力的な地域づくりを目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①住宅オールZEH化の促進
・2050ゼロカーボン達成に向けて、住宅分野においても更なる温室効果ガス排出削減をするため、「信州健康ゼロエネ住宅」への助成を実施
・戸建て住宅の技術力等が不足する中小工務店もZEH対応が可能となるよう、講習会等により技術力・価格競争力を強化
②空き家の適正管理・利活用の促進
・増加する空き家の適正管理と円滑な流通を促進するため、市町村への専門家の派遣等により、技術的支援を実施
・中古住宅の流通促進のため、既存住宅状況調査（インスペクション）費用等への補助を実施
・空き家にすることなく住まいの流通を進めるための仕組の検討
③信州木のある暮らしの推進
・県産木材を活用した木造建築物の増加や担い手の確保を図るため、良質な木造建築物の表彰、中学校の授業へ大工技能者の派遣を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	指標なし								新築住宅におけるZEHの割合の状況を「5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標」に記載。
②	当該補助金を活用して既存住宅状況調査の実施又は既存住宅売買瑕疵保険へ加入した件数	件	39	50	↗	67	↗	60	既存住宅状況調査及び既存住宅売買瑕疵保険への加入に対して補助を実施し、中古住宅の流通を促進する。
③	新築住宅（持ち家）における木造在来工法の割合	%	76.7	76.3	↘	75.4	↘	75	長野県住生活基本計画において、木造在来工法の新築住宅（持ち家）の割合を現状維持の75%と設定しているため。 ※R7年度当初予算、R7年度事業点検、R7年度2月補正予算及びR8年度当初予算シートに記載したR5・6年度実績数値が誤りだったため修正しました。（R5実績：修正前76.2、修正後76.7 R6実績：修正前73.3、修正後76.3）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	☆新築住宅におけるZEHの割合	%	2023 (R5)	62.1	2024 (R6)	69.0	2025 (R7)	71.1	2027 (R9)	90

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	435,443	△ 17,695	417,748	233,122	398,852	25.0
R6年度	0	407,644	0	407,644	226,953	387,130	25.0
R5年度	0	393,494	△ 68,941	324,553	178,648	311,940	27.8

事業番号	11 08 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	快適・安心すまいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課	

7 主な取組実績と成果

①住宅オールZEH化の促進

- ・高い断熱性能を有し、信州の恵まれた自然環境と森林資源を活かし、地域内経済循環も考慮した快適で健康的な信州健康ゼロエネ住宅の普及を図るため、住まい手及びつくり手へ向けた情報発信を図るとともに、新築（280件）及びリフォーム（64件）への助成を実施
- ・県内工務店等の技術力向上と普及啓発のため、ZEH施工の研修動画を作成

②空き家の適正管理・利活用の促進

- ・増加する空き家の適正管理と円滑な流通を促進するため、市町村へ専門家の派遣（延べ63名）等により、技術的支援を実施
- ・中古住宅流通促進のため、既存住宅状況調査費用（63件）及び既存住宅売買瑕疵保険料（4件）への補助を実施
- ・空き家予備軍を空き家にすることなく住まいの流通を進めるため、専門家による検討会議を実施し（4回）、R8施策へ反映

③信州木のある暮らしの推進

- ・県産木材を活用した木造建築物の増加や担い手確保を図るため、優良な木造建築物の表彰、中学校の授業へ大工技能者の派遣を実施（延べ14クラス28名）



ZEH施工の研修動画



中学校への大工技能者派遣

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ②	当該補助金を活用して既存住宅状況調査の実施又は既存住宅売買瑕疵保険へ加入した件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
制度の周知により既存住宅状況調査（インスペクション）費用及び既存住宅売買瑕疵保険料への補助件数が増加しており、消費者が安心して空き家を購入できる市場環境の整備が進んでいる。							
指標 ③	新築住宅（持ち家）における木造在来工法の割合	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	達成
新築住宅（持ち家）における木造在来工法の割合は減少傾向にあり、建築物省エネ法の改正による省エネ基準適合義務化や、建築基準法の改正による建築確認手続きの特例見直しが影響しているものと推測される。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題	
・住宅分野のゼロカーボン達成に向けて、一層の温室効果ガス排出削減の取組が必要 ・世帯数が減少に転じることが見込まれているなか、空き家の増加を抑えるため、より一層、既存住宅の流通促進と有効活用、空き家の適正管理の取組が必要 ・県内の住宅の大半が木造住宅であるなか、大工技能者の減少及び高齢化が進んでおり、担い手の確保、技術力の維持が必要	
(2) 事業改善の方策	
・2050年の住宅ストック平均でのゼロカーボンを達成するためには、既存ストックの省エネ化を進める必要があるため、信州健康ゼロエネ住宅助成金のリフォームに対する助成額を拡充するとともに、引き続き、施工実務講習会など施工者の技術力向上のための取組を実施する。 ・空き家が増加するなか、改正空家特措法を踏まえ、周囲に悪影響を及ぼす前の段階から有効活用や適切な管理がなされるよう市町村が行う対策を支援するとともに、既存住宅状況調査や既存住宅売買瑕疵保険の一層の普及を図り、中古住宅の流通を促進する。 ・県内事業者の施工を対象とした助成事業について、情勢の変化にあわせて制度を見直し利活用の促進を図るとともに、信州木のある暮らし推進事業により啓発を行い、地域住宅産業の体制強化と担い手確保を図る。	

事業番号	11 08 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	快適・安心すまいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	住宅オールZEH化推進事業		305,386 千円	377,750 千円	385,279 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州健康ゼロエネ住宅普及促進加速事業	補助金 委託	信州健康ゼロエネ住宅指針に適合する住宅の新築又はリフォームへの助成 信州健康ゼロエネ住宅の周知業務の委託 新築への助成 280件、リフォームへの助成 64件		
2	新築戸建て住宅オールZEH化推進事業	委託	新築戸建て住宅のオールZEH化に向けてボトルネックとなる技術力・価格競争力の弱い県内工務店等への普及啓発 研修動画の作成		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	空き家適正管理・活用促進事業		2,215 千円	5,009 千円	9,553 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	空き家適正管理促進事業	補助金 直接	消費者が安心して空き家を購入できる市場環境の整備に資する既存住宅状況調査（インスペクション）費用及び既存住宅売買瑕疵保険料への補助 専門家派遣により情報提供及び技術的な助言を行い、市町村が実施する空き家対策を支援 既存住宅状況調査・瑕疵保険料への補助 67件、市町村へ専門家派遣 延べ63名		
2	空き家等の市場流通促進事業	直接	空き家にならずに住まいの流通を進めるための仕組の検討 検討会議の開催 4回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	信州木のある暮らし推進事業		1,599 千円	2,343 千円	2,285 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	"信州の木"建築賞	直接	木造建築物の普及と担い手確保のため、優れた木造建築物を表彰し、その魅力を広く発信 建築賞の実施		
2	木造建築担い手育成啓発事業	直接	キャリア教育の一環として、中学校へ大工技能者を派遣 大工技能者派遣 延べ14クラス28人		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	住宅・建築施策推進		2,740 千円	2,028 千円	1,735 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新たな住宅セーフティネット普及事業	直接	市町村担当者（住宅及び福祉部局）、地域の福祉関係者、不動産関係者等による市町村居住支援協議会設立に向けた支援 勉強会の開催 1回		
2	信州多様な住まい方推進事業	委託	豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根差した信州らしい多様な住まい方を広く発信するため、情報発信サイトを運営 ホームページ管理運営業務委託、事例紹介動画追加 2件		
3	ふるさと古民家再生支援事業	直接	古民家の安全・安心で魅力ある適切な活用等を図るため、専門家を派遣して建物の調査を行い、修繕・再生の可能性、維持管理方法等のアドバイスを実施 古民家調査 15件		